



祝 卒業

本日、第138回卒業証書授与式が挙行政され、49名の卒業生が無事、大明小学校を巣立っていきました。

さて、小学校の卒業は義務教育9年間の通過点に過ぎません。しかし、大きな夢と希望を抱き進学する大きな節目となります。今年の卒業式も厳粛且つ卒業生を主役とした、素晴らしい式になりました。今年度の卒業式のテーマは「六年間の笑顔を胸に」でした。式典の中での子供たちの姿は、まさにこのテーマを体現するものでした。証書を受け取る際の引き締まった表情、そして退場時に見せた晴れやかな笑顔。その一つひとつの表情の中に、楽しかった休み時間、夢中で駆け抜けた運動会、仲間と切磋琢磨した日々の記憶が刻まれているように感じられました。小学校生活の6年間は、決して平坦な道ばかりではなかったはずですが、時には悩み、立ち止まることもあったと思います。しかし、子供たちはそれらを乗り越え、今日、立派な成長の姿を見せてくれました。昨日六年生の前で少し話をさせてもらいましたが、今年の卒業生の素晴らしいところは、気さくさにあると思っています。誰とでも分け隔てなく関する態度。下級生に優しく接する姿勢。その姿の一つ一つに暖かさを感じ、人間としての豊かさを感じるがありました。もちろんその姿を支えてきたのは、各御家庭の保護者であったり、地域の方々であったりすることは間違いありません。学校としても少しばかりお手伝いさせていただき、皆で連携することができたことに深く感謝しております。138年もの長い歴史と文化を受け継いできた学校として、子供たちの成長と益々の発展を願っています。また、卒業していく子供たちは、先輩たちが紡いできた伝統を絶やすことなく、後世につないでいく責任もあります。今年1年、その責任を十分に果たし、大明小学校の伝統を受け継ぐことができました。これから49名の卒業生は、伝統を紡いできた先輩方と一緒に10、917名の卒業生の一人として、大明小学校を支えていきます。

大明小で育んだ「笑顔」は、単に楽しい時の顔ではなく、「困難を乗り越えた自信」と「仲間への信頼」に裏打ちされた、強くて優しい笑顔です。これから歩む新しい道でも、この6年間で得た宝物のような笑顔を忘れないでほしいと願っています。自分を信じ、周りの人々を大切にしながら、一歩ずつ着実に歩いてほしいです。

「卒業証書」

谷川俊太郎

ひろげたままじや持ちにくいから
きみはそれをまるめてしま
まるめただけじゃつまらないから
きみはそれをのぞいてみる
小さな丸い穴のむこう
笑っているいじめっ子
知らんかおの女の子
光っている先生のはげ頭
まわっている春の太陽
そしてそれらのもつとむこう
星雲のようにこんとんとして
しかもまぶしいもの
教科書にはけつしてのついで
蛍の光で照らしても
窓の雪ですかしてみても
正体をあらわさない
そのくせきみをどこまでも
いざなうもの
卒業証書の望遠鏡でのぞく
きみの未来